

お寺大会 エントリーシート

出品者名
抜作 三太郎 こと 前田@厚木です。
作品タイトル
96 kHz サンプリングCDプレーヤー付きアンプ
作品紹介 (回路図や構成図、コスト、出品者本人のコメント・所感など)
<p>今のCDプレーヤーはどうなっているか知りませんが、古いCDプレーヤーでは 33.8688 MHz のクロックが使われていました。</p> <p>普通は動かないのですが、昔の装置の中にはクロックアップしてあげると動いちゃう装置がありました。そこで、クロックを換えて High-sampling のデータを使ったCDを作ってあげるとちゃんとそれなりに再生できました。</p> <p>ということで、$33.8688 \text{ MHz} \times (96/44.1) = 73.728 \text{ MHz}$ の水晶を入手、クロックとして使うことで 96 kHz サンプリングの擬似CDが再生可能になるはず.....。</p> <p>再生時間が半分以下になってしまう、とか 今更CD?とかいろいろご批判はあるでしょうが、High-sampling の音をCDと同じ手軽さで聞ける装置は世の中に3台と無いだろう (ひょっとしたらあるかもしれないけれど.....)。音源がないのが悩みではあります。</p> <p>CDプレーヤーのファームをいじっているわけではないので、CDは 44.1 kHz サンプリングのふりをして作成します。そうしないとCDプレーヤーがCDを認識してくれませんか、CDライティングソフトも動作してくれませんか。ですから、High-sampling のCDは普通のCDプレーヤーでも再生可能です (聞けたものではありませんが)。</p> <p>このCDプレーヤーを使うと現代の調律 (A音が 442 Hz が普通らしい) の演奏を、古典音楽で使われていたA音 415 Hz へ音程を変更した再生も可能になります (速度は若干変わるけれど)。逆も可能です。....だから何だ、とは言わないで....</p>
<p>アンプは普通のアンプです。</p>

事務局に提出してください。
作成します。

この用紙は2枚記入し、1枚は作品に添付、1枚は事務局に提出してください。
この作品紹介を参考に大会レポートを作成してください。